

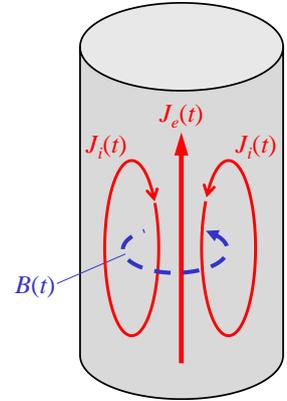
■ 表皮効果

一般に、導体に高周波の交流電流を流すと、電流は表面に集中する。

[定性的な説明]

- ① 外部電源により交流電流が流れ、導体内部の電流密度 $J_e(t)$ が増加すると、周囲の磁束密度 $B(t)$ も増加する。(アンペアの法則)
- ② その結果、 $B(t)$ の増加を妨げる向きに誘導起電力が発生し、誘導電流 $J_i(t)$ が流れる。
- ③ 導体の中央では、 $J_e(t)$ と $J_i(t)$ が逆向きになり弱められるため、表面のみが残る。

誘導起電力は $\partial B / \partial t$ に比例するため、周波数が高いほど著しい。



[より厳密に] (教科書 157 ページ)

導体内部では、

$$\nabla \times \mathbf{E} = -\frac{\partial \mathbf{B}}{\partial t} \quad \dots(i) \quad (\text{ファラデーの電磁誘導の法則})$$

$$\nabla \times \mathbf{H} = \mathbf{i}_F \quad \dots(ii) \quad (\text{アンペアの法則})$$

$$(ii) \text{に } \mathbf{i}_F = \sigma \mathbf{E} \quad (\text{オームの法則}) \text{ および } \mathbf{H} = (1/\mu)\mathbf{B} \text{ を代入して, } \nabla \times \left(\frac{\mathbf{B}}{\mu}\right) = \sigma \mathbf{E} \quad \dots(iii)$$

$$(iii) \text{ より } \mathbf{E} \text{ を}(i)\text{に代入して, } \nabla \times \left(\frac{1}{\sigma} \nabla \times \frac{\mathbf{B}}{\mu}\right) = -\frac{\partial \mathbf{B}}{\partial t} \quad \dots(iv)$$

導体内で σ と μ が空間的に一様であれば、(iv)式左辺は、

$$\frac{1}{\sigma\mu} \nabla \times \nabla \times \mathbf{B} = \frac{1}{\sigma\mu} [\nabla(\nabla \cdot \mathbf{B}) - \nabla^2 \mathbf{B}] = -\frac{1}{\sigma\mu} \nabla^2 \mathbf{B} \quad (1 \text{ つ目の等号はベクトル公式. } 2 \text{ つ目は } \nabla \cdot \mathbf{B} = 0)$$

$$\therefore \nabla^2 \mathbf{B} = \sigma\mu \frac{\partial \mathbf{B}}{\partial t} \quad \dots(v)$$

今、 $x=0$ (導体界面) において、角周波数 ω で振動する \mathbf{B} の z 成分が存在する場合を考える。

z 方向成分を $B_z \equiv B_0 e^{j\omega t + \gamma x}$ として (v) 式に代入すると、

$$\gamma^2 / \sigma\mu = j\omega \quad \text{より, } \gamma = \pm(\sqrt{\omega\sigma\mu/2} + j\sqrt{\omega\sigma\mu/2})$$

$x \rightarrow \infty$ で収束するためには、

$$B_z = \text{Re} \left[B_0 e^{j(\omega t - \sqrt{\omega\sigma\mu/2}x)} \right] e^{-\sqrt{\frac{\omega\sigma\mu}{2}}x}$$

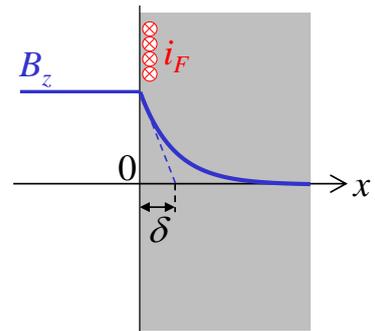
$\therefore |B_z|$ は、 x 方向に指数的に減衰する。

$1/e$ に減衰する深さは**表皮厚** (skin depth) と呼ばれ、

$$\delta = \sqrt{2/\omega\sigma\mu} \quad \dots(3.13)$$

と表される。

(ii)式より、自由電流 \mathbf{i}_F も厚み δ の表面にのみ流れる。



[数値例]

銅 : $\sigma \sim 6.0 \times 10^7 \text{ S/m}$, $\mu \sim 1.25 \times 10^{-6} \text{ H/m} \Rightarrow \delta \sim 9 \text{ mm @ } 50 \text{ Hz}$, $2 \mu\text{m @ } 1\text{GHz}$